

| 開講学科           | 建築学専攻   | 実務家科目  |       | 前橋工科大学 シラバス |          |  |  |
|----------------|---|--------|-------|-------------|----------|--|--|
|                |   | —      |       |             |          |  |  |
| 科目名            | 都市・環境デザイン 演習  | 標準対象年次 | 選択／必修 |             | 科目コード    |  |  |
|                |   | 1、2年次  | 選択    |             | 33004601 |  |  |
| 担当教員           | 杉浦 榮  | 単位数    | 学期    | 曜日          | 時限       |  |  |
|                |   | 2単位    | 後期    | 水曜日         | 7時限      |  |  |
| 授業の教育目的・目標     | <p>・人と環境との多様かつ連鎖的な関係を理解し、環境との関係性から人の生息する場を構築し創造する「都市・環境デザイン」を展開する考察力と構想力を養う。</p> <p>・産業構造の変化や都市縮退等の現代的な課題を考察し、社会的なデザインへの洞察力と思考力を養い、課題の解決に寄与する「都市・環境デザイン」について探求する。</p> <p>・広域かつ複層的な調査・分析から潜在資源の抽出と現状課題の把握を行い、環境と人との望ましい関係や、共生的かつ持続的なありようを具現化する「都市・環境デザイン」を構想する。</p>  |        |       |             |          |  |  |
| 学科の学修・教育目標との関係 | 建築設計演習など関連する各科目等における学修を通じ、地域や環境と人の活動の総体として現れる「都市・環境デザイン」について、広域的な視野と横断的な思考を養う。  |        |       |             |          |  |  |
| キーワード          | サステナブル・デザイン、ランドスケープ・アーバンイズム、ブラウン・フィールド（産業棄地）、グリーン・インフラストラクチャー、インダストリアル・ランドスケープ、都市再編、地域再生、産業空間の変遷、フィタル・リミディエーション（植物浄化）、微気象緩和、等   |        |       |             |          |  |  |
| 授業の概要          | 都市構造や産業構造の変化等により、住居や生産等の一義的機能が減損または消失した後、物理的要因（構造物等の残置、土壌等の汚染、二次自然の繁茂等）及び社会的要因（経済性、人口動態、権利義務の放棄等）から、適切な活用や管理が図られず放置されている土地や既産業空間（広義のブラウンフィールド／産業棄地）は、その存在により地域の衰退や治安の低下及び災害の危険性等の様々な問題をもたらす。本課題では、まず問題が顕在化している土地や地域を選出し、そこに内包される課題と潜在資源を包括的な調査・分析（広域・複層・時系）から掘り下げ、価値構造の転換や自然活用の新技術や社会参加の仕組み等により、地域の再生や都市の再編につながる持続的な「都市・環境デザイン」を検討し計画・設計する  |        |       |             |          |  |  |
| 授業の計画          | <p>第1回： ガイダンス及び課題説明等</p> <p>第2回： 敷地候補の発表とディスカッション、選抜</p> <p>第3回： 敷地の調査・分析1：情報収集とマッピング、敷地模型製作等の開始</p> <p>第4回： 敷地の調査・分析2：現地調査とヒアリング、調査内容等の整理</p> <p>第5回： 敷地の調査・分析3：潜在資源と現状課題の抽出、コンセプト起案</p> <p>第6回： 参考事例の調査・分析：敷地への示唆と適応</p> <p>第7回： 中間発表と講評Ⅰ：敷地の調査・分析結果と参考事例から導かれる構想起案</p> <p>第8回： 構想を検証し展開する1：スケッチ等によるエスキス及びディスカッション</p> <p>第9回： 構想を検証し展開する2：スタディモデル等によるエスキス及びディスカッション</p> <p>第10回： 中間発表と講評Ⅱ：構想を具体化したコンセプト、計画・設計への展開素案</p> <p>第11回： 構想から計画・設計へ1：図面等によるエスキス及びディスカッション</p> <p>第12回： 構想から計画・設計へ2：模型等によるエスキス及びディスカッション</p> <p>第13回： 模擬最終発表及び講評：最終発表への成果品を全て揃えた模擬発表</p> <p>第14回： 最終発表の成果品の完成と提出（メ切・検印）、口答発表の準備</p> <p>第15回： 最終発表及び講評会：ゲストクリティーク等を招いての講評、評価・採点等</p> |        |       |             |          |  |  |
| 受講条件・関連科目      | 学部または専攻において、デザイン科目または設計演習等を積極的に履修していること。  |        |       |             |          |  |  |
| 授業方法           | 少人数ずつのグループワークにより課題に取り組むものとし、図版・図面・模型等の製作及びそれらにもとづく発表と成果品の提出を求める。  |        |       |             |          |  |  |
| テキスト・参考書       | 参考書：適宜、講義時に指示する。成果品およびプレゼンには、Vectorworks、Illustrator、Photoshop、Powerpoint等のアプリケーションを使用することが望ましい。  |        |       |             |          |  |  |
| 成績評価           | ・試験（70％） ・レポート（30％） ・その他 注意事項（課題発表を試験、調査・分析及びエスキスとディスカッション等をレポートとみなす）   |        |       |             |          |  |  |
| 履修上の注意         | 受講者には、積極的な履修態度及び活発な議論への参加、自主的な課題への取り組みを期待する。  |        |       |             |          |  |  |